

HEART NEWS

大阪市立総合医療センター循環器センター

Vol. 24



当院では、今まで重症病棟が数フロアに分散していました。このたび、ECU・EHCU・ICU・HCU、そしてCCUのこれら重症病棟を4階に集中させることとし、現在工事を進めています。これを機会に、より迅速かつ良質な救急医療を提供できるよう、努力して参ります。

ハートニュース Vol. 24 巻頭言

寒さも少しはゆるんできたようで、地域医療機関の先生方はいかがお過ごしでしょうか。

ハートニュースは創刊から4年がたちました。今回のVol.24では、2016年における当院循環器センターの取り組み実績と新年度にむけての状況をご案内いたします。

2016年4月から開始しました重症大動脈弁狭窄症の新しい治療法である経カテーテル的大動脈弁置換術 (Transcatheter Aortic Valve Implantation: TAVI) は、すでに30例(3月1日現在)を終了し、大きな合併症もなく順調に施行されています。また、これまで各階に分散していた重症病棟が、新たに4階に集中治療センター(ICU, CCU, ECU, P-ICU 28床とHCU 12床 計40床)として集約され3月20日から稼働予定です。

今後も、これまで同様地域医療機関との連携強化に努め、どのような心血管疾患に対しても最先端の循環器医療を身近に提供できるよう、なお一層努力したいと思っておりますのでどうぞよろしくお願い申し上げます。

大阪市立総合医療センター 循環器センター長

循環器内科部長 成子 隆彦

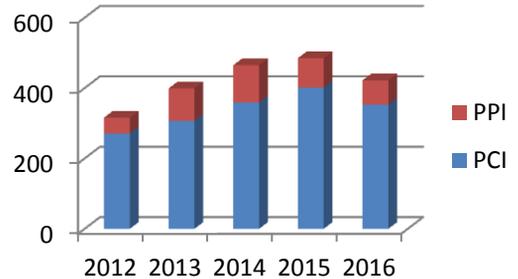
特集：2016年を振り返って

循環器内科の2016年の実績

成子隆彦が部長として循環器内科全体を運営しています。地域医療機関のご協力のおかげでハートラインの件数も順調に増加しています。

心臓カテーテル部門

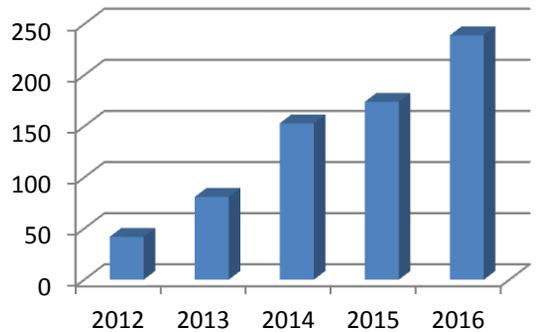
成子部長、紙森副部長、松本医長、吉山医師、松尾医師、松下医師、加川医師が中心となっており、心臓カテーテル治療(PCI)の件数は横ばいです。おそらくFFR(冠血流予備量比)の施行による不必要なPCIの減少によるものと思われます。昨年4月より開始しました経カテーテル的大動脈弁留置術(TAVI)も経大腿動脈アプローチ(TF) 13例、経心尖部アプローチ(TA) 8例の計21例施行し、順調に増加しています。



不整脈治療部門

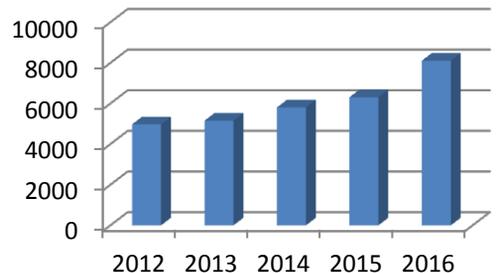
占野医長、吉山医師、松尾医師、松下医師が中心となりアブレーション治療の件数は順調に増加しました。2015年11月から開始された心筋冷凍焼灼術(クライオアブレーション)は、69例施行されました。

また、心臓デバイスでは「永久ペースメーカー」の植込みを71件、「植込み型除細動器」および「心臓再同期治療機能付き植込み型除細動器」の植込みも39例施行しました。



心臓超音波検査部門

阿部副部長、松村医長、赤松医師と生理検査技師が中心となって頑張ってくれました。昨年の成人心臓超音波検査数は、8000例を超えました。経食道エコー検査も354例と増加し、特に弁膜症については、他のどの施設よりも精度の高い診断を行っていると感じています。



今後も地域医療機関との連携強化に努め、「間口は広く、敷居は低く」を合言葉にどのような心血管疾患に対してもレベルの高い医療を提供できるよう、なお一層努力したいと思っております。

循環器内科外来担当医のご案内

	月	火	水	木	金
午前	阿部	松村	占野	紙森	成子
午後	阿部	松村	吉山	紙森	成子
	占野(ペースメーカー)				

地域初診外来

	月	火	水	木	金
午前	成子		阿部	成子	松本
午後			占野(不整脈)		

心臓血管外科の2016年の実績

2016年度手術実績は例年通り200例以上の心大血管手術を行うことができました。2016年4月より経カテーテル大動脈弁置換術（TAVI）を開始しました。また、通常の開胸・開腹の人工血管置換術に加えて、ハイブリッド手術室を利用して胸部・腹部大動脈瘤に対するステントグラフト治療を積極的に行っております。

2016年心臓大血管外科手術（205例）

虚血性心疾患（単独CABG）：36例
 弁膜症：95例（うちCABG併施10例、TAVI 21例）
 胸部大動脈瘤：62例（うちステントグラフト治療26例）
 先天性心疾患：4例
 その他：8例

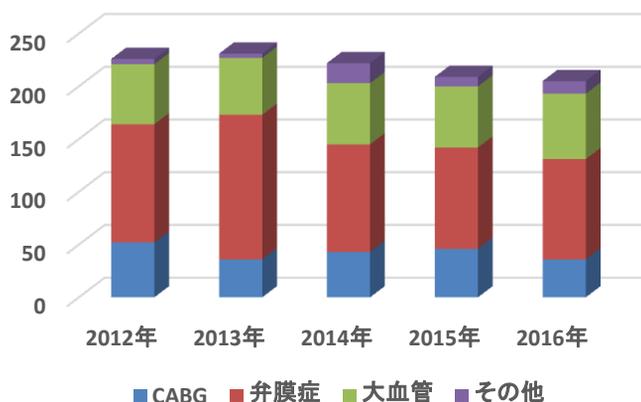
2016年末梢血管手術数（79例）

腹部大動脈瘤：54例（うちステントグラフト治療30例）
 末梢血管：25例

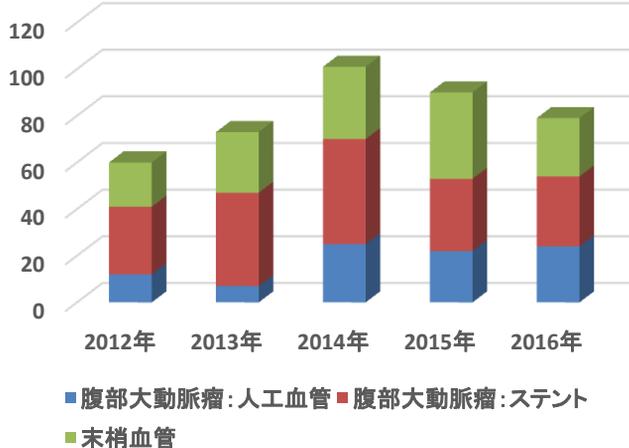
2017年の予定

高齢化社会で増加している大動脈弁狭窄症にたいする手術加療（TAVI or AVR）を積極的に行ってまいります。循環器センターのハートラインの利用が増加しており、ハートライン経由の緊急患者はほぼ100%受け入れ出来ております。また、胸部・腹部大動脈瘤破裂症例に対する緊急ステントグラフト内挿術も積極的に行っております。引き続きハートラインを通して、緊急症例の受け入れを行い、地域医療に対して貢献してまいりたいと思っております。

最近5年間 心臓大血管手術数



最近5年間 末梢血管手術数



心臓血管外科外来担当医のご案内

	月	火	水	木	金
午前	末廣	佐々木	賀来	佐々木	尾藤
午後	末廣	佐々木	賀来	佐々木	尾藤

診察予約（地域医療連携室）

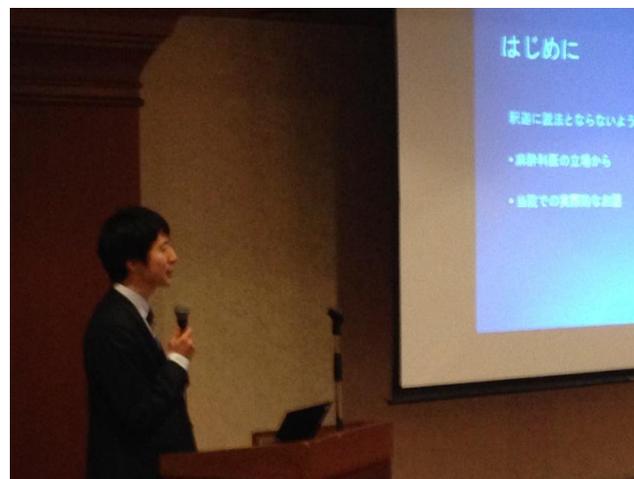
TEL:06-6929-3643 FAX:06-6929-0886

月曜～金曜 8:45～20:00

今号の循環器日記

我々、循環器センターでは臨床・教育・研究の3つのいずれもが欠けることのないように力を入れております。国内学会をはじめ国際学会でも発表を行ったり、また、教育プログラムの運営を行ったりしています。

写真は、2月に開催した先進弁膜症フォーラムでのものです。当院では、大動脈弁狭窄症（AS）に対する経カテーテル的大動脈弁留置術（TAVI）を昨年に導入し、経大腿動脈（TF）法22例、経心尖部（TA）法8例（3月1日現在）と順調に症例を重ねています。そこで、今回ASの診断について循環器内科阿部医師が、TF法のTAVIについて循環器内科松本医師が、TA法のTAVIについて心臓血管外科尾藤医師が、TAVI中の麻酔について麻酔科の金沢医師がそれぞれ講演を、また心臓血管外科佐々木部長と循環器内科成子部長、奥谷副院長からご挨拶もさせていただきました。ご参加いただいた方々に感謝申し上げます。



当院循環器内科、心臓血管外科は近隣の先生方からの循環器救急疾患をさらに迅速に受け取ることができるようにするため、循環器センター直通電話（ハートライン）を設置しております。

ハートライン（循環器センター直通電話）

06-7662-7979

その他の場合は、御面倒ですが、

06-6929-1221（病院代表）から呼び出して下さい。